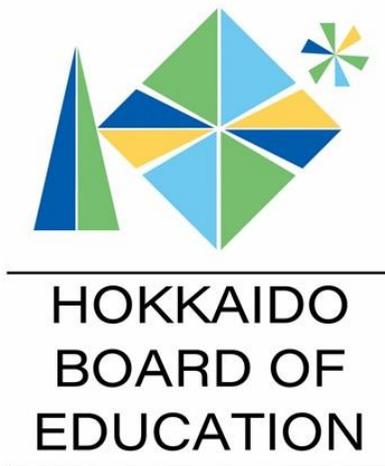


# 北海道教育委員会 教育長記者会見



令和5年(2023年) 6月16日



# 令和5年度教育費2定補正予算案の概要

北海道教育委員会



北海道が目指す教育の基本理念である「自立」と「共生」を実現するため、令和5年度からを計画期間とする**新たな北海道教育推進計画**で掲げている**3つの施策**を柱に取組を推進

※金額は当初計上額を含めた額

<b>施策の柱1</b> 子どもたち一人一人の可能性を引き出す教育の推進	<b>新規</b> 学力向上推進事業費	全国学力・学習状況調査の結果分析を踏まえた授業改善や生活習慣の改善など、子どもたちの学力向上を図る取組を実施	<b>15,879 千円</b>
	<b>新規</b> 体力向上推進事業費	体育専科教員の訪問指導や指導力を強化する研修等を通じて、教員の資質向上や子どもたちの運動習慣の定着に向けた取組を推進	<b>4,026 千円</b>
	<b>新規</b> 北海道立学校教育活動応援事業費	道立学校において、地元名産品等を利用した商品開発など、クラウドファンディングを活用した取組を実施	<b>1,350 千円</b>

<b>施策の柱2</b> 学びの機会を保障し質を高める環境の確立	<b>新規</b> 部活動の地域移行支援事業費	中学校における休日の部活動の地域移行に向け、地域におけるスポーツ・文化団体等の整備、指導者確保等の取組を支援	<b>165,038 千円</b>
	<b>拡充</b> いじめ等対策総合推進事業費	いじめや不登校等の問題を抱えた児童生徒の早期発見や、問題の早期解決を図るため、カウンセリング事業や相談体制の整備等を実施	<b>215,671 千円</b>
	<b>拡充</b> スクール・サポート・スタッフ配置事業費	教員の業務負担軽減のため、小中学校にスクール・サポート・スタッフを配置	<b>416,806 千円</b>
	<b>新規</b> 給食原材料費等支援事業費	物価高騰下においても、栄養バランスや量を保った給食の実施が継続できるよう、物価高騰分の経費を支援し、保護者の負担を軽減	<b>85,019 千円</b> <small>※第1回臨時会計上</small>

<b>施策の柱3</b> 地域と歩む持続可能な教育の実現	<b>新規</b> 高校生防災教育推進事業費	地域と連携した学校安全体制の構築や生徒の防災意識の向上を図るため、1日防災学校や高校生防災サミットを実施	<b>4,416 千円</b>
	<b>新規</b> 道有施設照明LED化事業費	道の事務・事業に関する実行計画における温室効果ガスの排出削減目標達成のため、道立学校等の照明のLED化を実施	<b>36,872 千円</b>

目標 「豊かな創造性を備えた持続可能な社会の創り手となる児童生徒の育成」

R5年度：15,879千円

主体的に学習に取り組む態度の涵養

## 【新しい時代に必要となる資質・能力】

基礎的・基本的な知識及び技能の習得

思考力、判断力、表現力等の育成

### ～学力向上推進事業パッケージ～

- 【目的】
- 学習指導要領を踏まえ、GIGAスクール構想で整備された1人1台端末を効果的に活用するとともに、各学校段階ごとの検証改善サイクルを確立
  - 小・中・高を一体的に捉えた児童生徒の学力や学習状況等を踏まえた、エビデンスに基づく学力向上の施策を推進
  - 1人1台端末を効果的に活用した授業改善や、自主・自律的な学習習慣・生活習慣の定着を図る効果的な取組方法を全道に普及

#### ■エビデンスに基づく資質・能力育成事業

- **小・中・高の学力や学習状況等の一体的な分析**
  - ・全国調査の北海道の結果を分析し改善方を提示
  - ・高校の学習状況調査の質問項目の約半数を全国調査と同一の質問とし、小・中・高を通じた経年変化を分析、改善方を提示
- **MEXCBTによるチャレンジテストの実施**
  - ・チャレンジテストを、オンライン上で学習できる文部科学省のCBTシステム（MEXCBT：メクビット）を活用し実施
- **EBE（Evidence Based Education）協議会の開催**
  - ・小・中・高の管理職やミドルリーダーなどの教員で学力向上の取組等を協議

#### ■新しいかたちの学びの授業力向上推進事業

- **新しいかたちの学びを推進する教員によるICTを効果的に活用した授業改善の推進**
  - ・国語、算数・数学で優れた指導力を有する教員が学校を巡回し、ティーム・ティーチング等により、ICTを効果的に活用した授業改善などを実施

#### ■自主・自律的な学習習慣・生活習慣確立促進事業

- **自主・自律的な学習習慣・生活習慣確立モデルの普及**
  - ・端末を持ち帰り、学習することや、アプリ上で学習時間等を記録、可視化することで学習習慣等の定着を図るモデル校を小・中から指定し、成果を全道に普及
- **学習時間などの時間の目安リーフレットの配付**
  - ・小学校1年生を対象に、リーフレット「時間の目安を決めて子どもの生活リズムを整える！」を配付

#### ■学校種間連携サポート事業

- **小中一貫校等の導入、連携のサポート**
  - ・児童生徒の課題や地域よさを踏まえた学校教育目標と関連を図った9年間を通じた指導計画の作成や、小中一貫教育を推進するための体制整備、教員研修の実施、家庭や地域と連携した取組等を推進
  - ・小中一貫教育の導入や義務教育学校の設置等に関し情報収集を希望する学校と道内先進校をマッチングし、情報共有できる体制を構築

## 本道児童生徒の体力の現状と課題（R4全国体力・運動能力、運動習慣等調査から）

- ・体力合計点が全国平均を下回っている状況が継続（○小学校は改善傾向、●中学校は差が拡大）
- ・「運動やスポーツをすることは好き」、「体育・保健体育授業は楽しい」と回答している児童生徒の割合は全国平均以上
- ・体育・保健体育授業で「できたり、わかったり」することがあると回答している児童生徒の割合が全国平均以下 等

体育専科教員等の配置や訪問指導、保健体育科教員への指導力強化研修を通じ、体力向上に向けた組織的な取組の質の向上、児童生徒が「できた、わかった」を実感できる体育授業の改善・充実、教員の体力向上に対する指導力の向上に向けた取組を推進する。

### 小学校体育専科教員活用事業

体育専科教員を小学校に配置し、自校や地域の体力向上の取組の改善・充実を図る。

#### 【内容】

- 自校及び地域の体育授業等の改善・充実に向けた訪問指導及び教育委員会と連携した研修等の企画
- 実践動画及び実践概要資料の作成

各地域や管内における連携

### 小学校体育エキスパート教員巡回指導事業

複数市町村を巡回する教員（体育専科教員経験者等）による管内の体力向上の取組の改善・充実を図る。

#### 【内容】

- 管内の体育授業等の改善・充実に向けた訪問指導及び巡回市町村教育委員会と連携した研修等の企画
- 実践動画及び実践概要資料の作成

取組の方向性の共有

### 北海道体力向上推進会議

道教委指定の体育を専門とする教員や有識者が一堂に会し、体育授業や体力向上の取組の改善・充実に向けた協議を行い、学校の状況に応じた組織的な取組を支援する。

#### 【内容】

- 授業改善や体力向上の取組の充実に向けた講義（道教委、有識者）、協議
- 管内に成果を普及啓発するための研修等の企画

### 中学校授業改善推進事業

保健体育科教員の指導力向上を図るため、優れた指導力を有する教員等を講師に実践的な研修を行う。

#### 【内容】

- 公開授業の開催（スペシャリストによる模範授業の提供）
- 有識者による講演・シンポジウムの実施
- 体育授業の改善・充実に向けたワークショップの実施

各地域や管内における連携

各地域や管内における連携



## 目的

- 実践的防災教育による児童生徒の防災意識の向上  
～道教委、道、市町村、防災関係機関の連携～
- 地域住民、防災関係機関との連携協働による体制の構築  
～地域コミュニティの核となる学校の活用～

## 取組内容

### 道教委

- 授業内容・指導方法のアドバイス
- 教材の紹介・貸出  
(防災かるた、災害食レシピ)



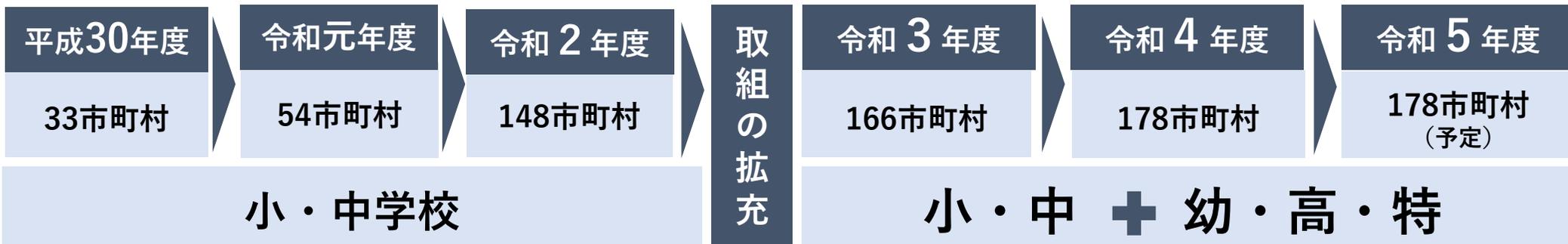
### 北海道

- 専門家の紹介
- 自衛隊、気象台など防災関係機関の派遣調整
- 教材の貸出

- 避難訓練・避難所設営体験
- 防災ダックゲーム、防災かるた
- 避難所運営ゲーム【Doはぐ (Hug)】
- 防災グッズ作り、災害食調理



## 取組の推進



目的

安全で安心な社会づくりに貢献できる資質・能力の育成を目指して、本道の高校生による防災サミットを開催し、地震、津波、火山噴火、暴風雪などの自然災害に対する高校生の防災・減災に関する提言とするとともに、生徒会等を中心とした高校生の防災ネットワークの構築を図る。

令和元年度  
「世界津波の日」  
高校生サミット成果

・災害分野の専門家

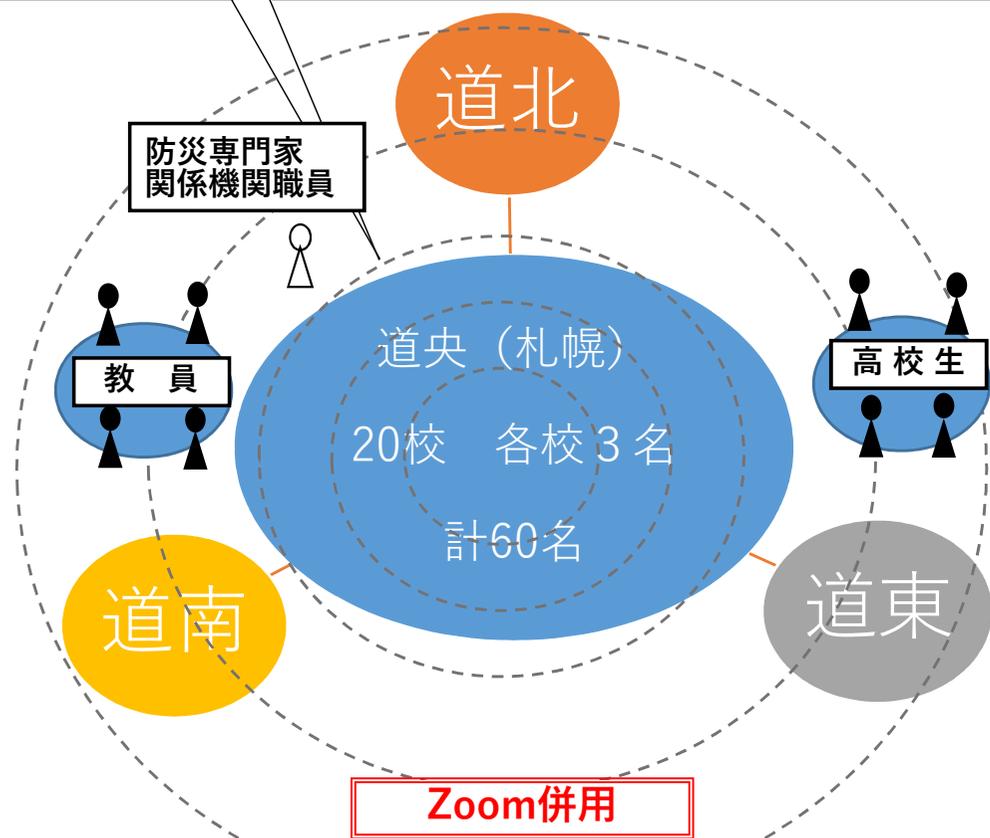
- 1 地震
  - 2 津波
  - 3 風水害
  - 4 暴風雪
  - 5 火山
- 北海道教育大学（地域防災教育担当）  
北海道大学広域複合災害研究センター、地震火山研究観測センター  
北海道立総合研究機構 北方建築総合研究所  
札幌管区气象台（情報利用推進官、地震津波防災官、気象予報士、防災士）  
国土交通省北海道開発局（地域防災専門官）  
北海道防災教育アドバイザー、北海道防災士協会 等

- 道央（札幌会場）参加校 計20校  
参加者20校×3名=60名
- 地方会場（道北、道南、道東）  
各振興局（教育局）  
各地方の高校生及び教員対象 Zoomによる参加
- 他府県高校の参加呼びかけ（オンライン）

1 【講演】  
「地域防災の担い手として高校生に期待すること（案）」 外部講師

2 【分科会】  
・テーマ  
①知識を得る～過去の教訓の伝承  
②意識を高める～災害の備えと迅速な避難  
③共に行動する～社会貢献、地域・学校・行政に協力できること  
④防災・減災に関して今、高校生ができること  
※教員向け分科会  
・参加者による実践発表  
・協議・交流、提言の作成

3 【全体会】  
・意見交換、提言作成・発表  
・高校生防災宣言  
「北海道の防災・減災に向けた、わたしたちの提言」



全道へ発信

## 現状と課題

- ①計画提出校は全体の約**3割**
- ②寄附を事業化した学校は**21校**(計画提出校の**23%**)
- ③国際交流事業は令和4年度のみ
- ④令和4年度は過去3年と比較し**85%減**

## 特色ある教育活動の推進

- 生徒の主体的な進路選択を可能とする学校づくりを推進
- 各学校間の切磋琢磨などの共鳴効果を促し、高校教育全体の活性化

## 北海道らしい関係人口の創出・拡大

- 地域の担い手としての活躍を促し、地方創生の当事者の獲得  
→学校を含めた地域活力の維持・発展

## 生きる力から

知識・技能の習得  
思考力・判断力・表現力の育成  
学びに向かう人間性等の涵養

各地域の人的・物的資源と機能を共有し、相互にフル活用し協働

## 地域創生へ

## 取組の方向性

R5年度：1,350千円



### 地域の人々への貢献

- ・返礼品の創意工夫・感謝状や活動報告の送付
- ・活動を通じ地域の発展に貢献する人材の育成



### 教育活動自体への支援

- ・C F の採用 具体的な発表会・商品開発・販売実習等
- ・地域や産業界等との連携・交流を通じた学習活動



### より多くの寄附金の募集

- ・生徒による商品開発 効果的な流通とプロモーション
- ・多様なPR活動 HP・CF通信・チラシの作成等

◆ふるさと応援事業3年間の実績等を踏まえ、継続する事業(返礼品なし)のほか、クラウドファンディングによる新たな**モデル事業を展開し**、**特色ある教育活動**の推進と**関係人口の創出**を目指す

## 北海道立学校ふるさと応援事業

### 返礼品なし

- 道内居住の道立学校卒業生等(OB・保護者)を対象
- 事業計画未提出校への働きかけ
- 既寄附者に対する継続した関係性の維持(案内・広報)

### 学校事業計画

各校の素材を活かした教育活動の充実(共感)

学校生産物不使用

主に道内居住者

3,965千円

持続可能な取組(謝意)



### 返礼品あり

NEW

- 道外居住の北海道関係者(出身者等)を対象
- 道の返礼品の設定内容のさらなる充実
- 各学校の事業計画のPR方法(視認性・検索性)を工夫  
各校の取組紹介・HP改善

寄附の主な使途  
・販売実習経費  
・商品開発経費  
・学校活動広告経費

学校生産物等活用

道外居住者

439千円



### クラウドファンディング

NEW

- 3事業(300千円上限)を指定
- G C F の実施基準策定・事業選定委員会を設置
- 市場の動向、商品開発と流通に関する材料を工夫し実践

地学協働アワードなど  
地学協働による取組

商品開発  
地域ブランド化

学校生産物等活用

道内外全て

地域振興施策の充実・PR



1,350千円

体験活動・実習を継続的に推進

学校の創意工夫による生徒の自己実現・北海道の未来を担う人材の育成

- ◆ 高校生最大のスポーツの祭典「全国高等学校総合体育大会」が昭和62年以来、36年ぶりに北海道で開催
- ◆ 競技期間 令和5年7月21日（金）～8月21日（月） 32日間
- ◆ 4年ぶりに通常の形態で開催。各競技の観戦は入場無料

## 競技会場地市町・各競技日程

札幌市	陸上競技	8/ 2 ～ 8/ 6
	体操（体操競技）	8/ 2 ～ 8/ 5
	体操（新体操）	8/10 ～ 8/12
	水泳（水球）	8/17 ～ 8/20
	バスケットボール	7/24 ～ 7/30
	卓球	8/ 8 ～ 8/13
	バドミントン	8/16 ～ 8/21
	柔道	8/ 8 ～ 8/12
	レスリング	7/27 ～ 7/30
	弓道	8/ 3 ～ 8/ 6
江別市	ボクシング	7/29 ～ 8/ 4
	水泳（競泳）	8/17 ～ 8/20
千歳市	水泳（競泳）	8/17 ～ 8/20
	ホッケー	7/28 ～ 8/ 2
恵庭市	なぎなた	8/ 4 ～ 8/ 7
石狩市	空手道	7/26 ～ 7/29
	ソフトボール女子	7/28 ～ 8/ 1
室蘭市	ソフトボール男子	8/ 4 ～ 8/ 8
	フェンシング	8/ 2 ～ 8/ 6
苫小牧市	ソフトテニス	7/22 ～ 7/29
	テニス	7/31 ～ 8/ 7
函館市	ハンドボール	7/25 ～ 7/31
	自転車競技（トラックレース）	8/ 5 ～ 8/ 9
	自転車競技（ロードレース）	8/ 6
北斗市	相撲	8/ 4 ～ 8/ 6



<道内> 28競技31種目 19市町  
 <道外> 3競技3種目 3県3市町

旭川市	バレーボール男子	8/ 7 ～ 8/11
	サッカー男子	7/28 ～ 8/ 4
	少林寺拳法	7/21 ～ 7/23
士別市	ウエイトリフティング	8/10 ～ 8/14
東川町 上川町 美瑛町 上富良野町	登山	8/ 7 ～ 8/11
網走市	ボート	7/27 ～ 7/31
帯広市	サッカー女子	7/25 ～ 7/30
	剣道	8/ 3 ～ 8/ 6
	アーチェリー	8/ 9 ～ 8/10
釧路市 釧路町	バレーボール女子	8/ 1 ～ 8/ 5

### 道外

山形県西川町	カヌー	8/ 2 ～ 8/ 6
栃木県宇都宮市	水泳（飛込）	8/17 ～ 8/19
和歌山県和歌山市	ヨット	8/12 ～ 8/16

## 総合開会式

期日・会場	➤ 期 日：令和5年7月22日（土）	➤ 会 場：北海きたえーる（北海道立総合体育センター）
参加人数	約 3,000名（選手団 288名、招待者 1,100名、出演高校生 440名 ほか）	
内 容	➤ 式 典（優勝杯返還、大会会長挨拶、祝辞、選手代表宣誓 等）	➤ 式典演技（ダンプレ、ダンス、チアリーディング 等）

## グローバル化への対応に向けた課題

- 新型コロナ収束後の人的往来の再開やビデオ会議システム等の普及に伴うオンラインによるコミュニケーションの機会の増加に向けて、高い語学力等を有するグローバル人材や本道の国際交流を牽引する若きグローバル・リーダーの育成が重要

## 海外留学等の現状（道内公立高校）

- 海外留学経験者数（短期＋長期）は576名、全体の0.64%  
[全国1.00%](H29)
- 海外修学旅行を実施した学校は8校、参加者数は1,087名  
[全国179,910名](H29)
- 留学者が少ない主な要因は、言葉の壁、経済的な負担など

## 大学と連携・協力し、道内における擬似留学の機会を提供

- 道立高校等と道内大学とのマッチングを行い、高校生と留学生による相互の擬似留学を実施



渡航せずとも気軽に参加できる国際交流機会の提供 ⇒ 将来のグローバル人材の更なる育成・拡大